

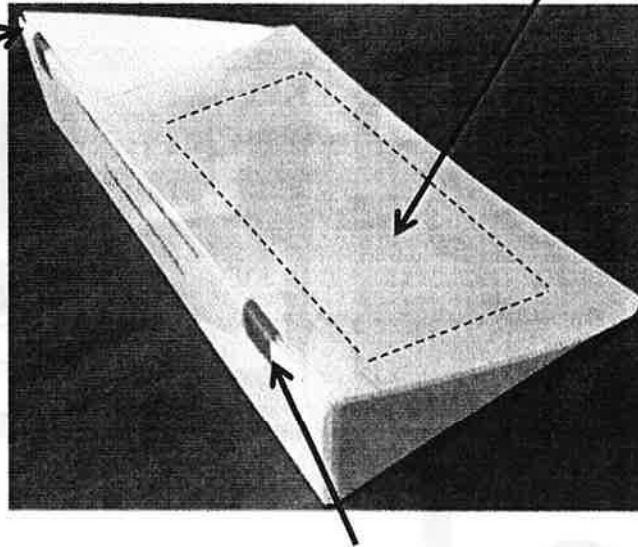
ツバメのフン受けの使い方

表

【1】 写真のように組み立ててください。

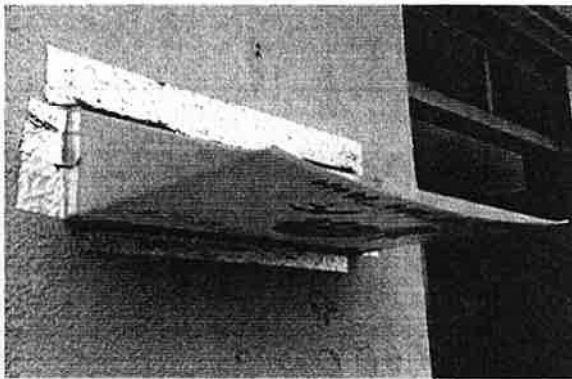
フンを受ける面に紙を貼っておくと、使用後の掃除が楽です。きれいに洗って、くり返しお使い下さい。

縁は内側に折り込んで下さい。

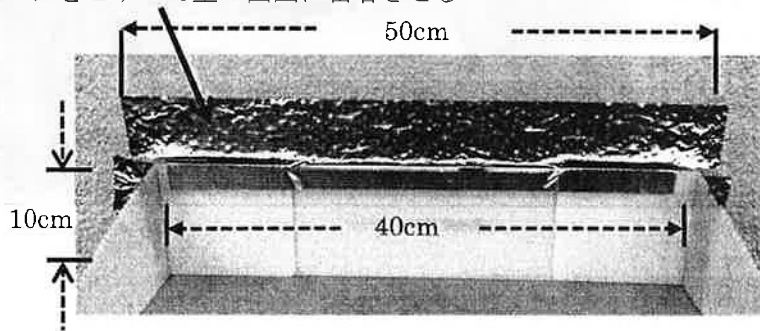
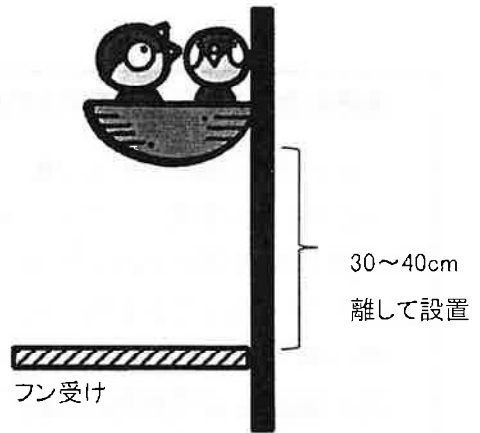


壁に付ける前に、少量のテープで仮留めして下さい。

【2】 フン受けの上下左右をアルミテープで留め、指でこすって壁の凹凸に密着させて下さい。フン受けはツバメが抱卵を始めてから取り付けて下さい。抱卵前だとツバメが警戒して巣を放棄してしまう危険がありますが、卵やヒナがいる巣を放棄することはありません。フン受けは巣から30~40cm 下方に付けるとよいでしょう。

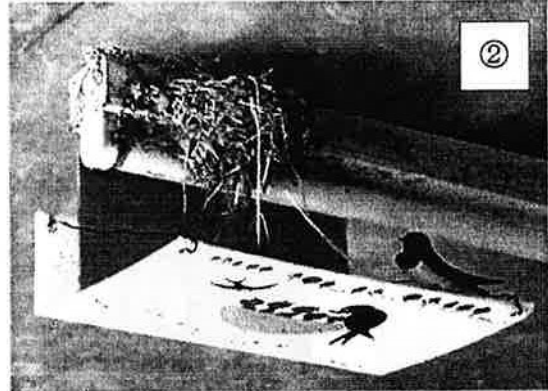
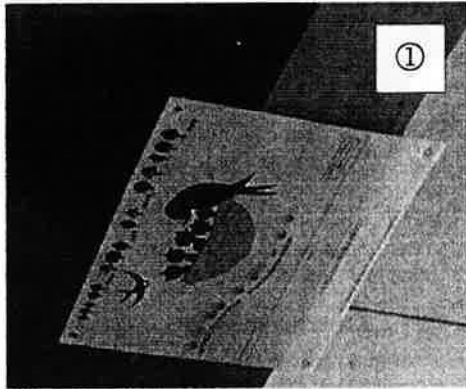


テープをこすって壁の凹凸に密着させる

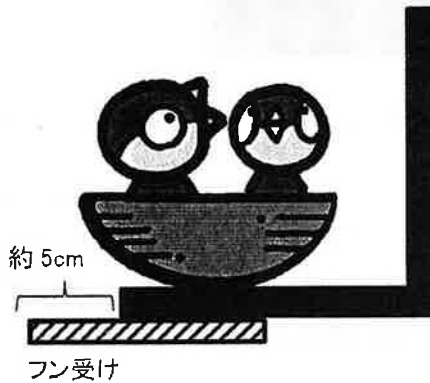


上部は縁に沿って40cmのアルミテープを貼り、さらに、その上に50cmほどのテープを貼ると、はがれにくくなります。

【3】 ツバメの巣の下方にフン受けを接着できる壁がない場合は、①フン受けを折り曲げずに設置するか、②フン受けの背を段ボール板などで延長して設置して下さい。
 ①は取り付け時期が早いとツバメが巣を放棄する可能性があるため、なるべくヒナが孵化してから取り付けて下さい。巣の直下にフン受けを設置した直後は親ツバメは警戒して巣に近寄りませんが、しばらくすると巣に戻ってきます。



(設置例のフン受けは旧型で少し形状が異なります)

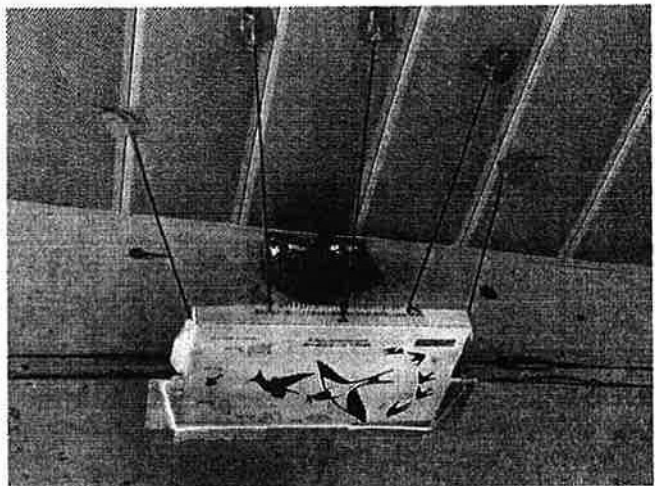


← 壁面

①のように巣の直下に設置する場合、フン受けはツバメの巣の先端から約5cmはみ出すくらいにしてください。フン受けが巣の下をふさぐように大きくはみ出していると、ツバメはとても警戒しますので注意して下さい。

天敵のカラスからヒナを守ってあげましょう

ヒナや卵が巣がカラスに襲われることがよくあります。フン受けの縁と天井の間にひもを張っておくと、カラスが巣に近づくことができません。紐の間隔は15~20センチがよいでしょう。ヒモもフン受けも、必ず抱卵が始まってから取り付けてください。それより早くに付けると、ツバメが警戒していなくなってしまうことがあります。



お問い合わせ先：NPO 法人バードリサーチ 担当 神山和夫

Tei/Fax 042-505-4044 メール koyama@bird-research.jp

ツバメのフン受けは株式会社シー・アイ・シーの協力で制作しています。